

平成 29 年 7 月 関町図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 29 年 7 月 27 日 (木) 15 時 40 分から 16 時 50 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館 (以下「光」)</p> <p>光が丘図書館長、管理係長、運営調整係長・係員 (2)、事業統括係長、子供事業統括係長</p> <p>(2) 関町図書館指定管理者 (株式会社図書館流通センター) (以下「関」)</p> <p>関町図書館長、同館業務従事者 (2)、本社スタッフ (1)</p>
内容	<p>① 施設管理について</p> <p>(光) 近隣マンションの建設工事について、何か影響はあるか。</p> <p>→ (関) 特に影響はなく苦情もない。</p> <p>(光) 夏休みに入り、グループ学習室の利用状況はどうか。</p> <p>→ (関) 夏休み前からほぼ毎日利用されている。申し込みは当日予約制。事前予約制を導入すると、高校生の利用ばかりになってしまうと懸念した。現状では、小学生から高校生までバランスよく使用されている。</p> <p>(光) 夏休みの視聴覚室の開放は。</p> <p>→ (関) 事業や貸出で利用がなければ普段から開放している。「調べる学習コンクール」にも関連し、8 月初旬の数日間、図書館員が夏休みの調べもののお手伝いをする部屋として使用する。</p> <p>(光) 視聴覚室の貸出しについて、目的外利用が増えている。</p> <p>→ (関) コーラスグループが定期的に利用しているため増加している。</p> <p>(光) 一方、会議室は貸出利用が見られない。</p> <p>→ (関) 会議室を使用した事業を行い、会議室の存在を知ってもらうほか、視聴覚室の貸出利用の際に、会議室についても PR して貸出利用につなげていきたい。</p> <p>(光) 6 月のティーンズコーナーが騒がしいとの苦情について</p> <p>→ (関) コーナー全体はざわついていたが、個々の利用者としては特段問題がなかった。ティーンズコーナーは青少年世代の利用コーナーであり、多少のざわつきは許容範囲であると考えている。館内は様々なエリア・コーナーがあり、利用者層や目的に応じて多様な使い方・使い分けをしていただく形となる。</p> <p>→ (光) ここは「ティーンズコーナー」ということが、もっとはっきりわかるように工夫したらどうか。</p> <p>→ (関) 配置や展示については、館内でも課題と認識している。他のコーナーの展示も参考にして、雰囲気づくりから工夫していきたい。</p> <p>(光) 飲食コーナーについて</p> <p>→ (関) わかりやすい掲示を追加したことで、利用のすみ分けが出来てきた。表示前は資料の閲覧や学習で利用されていることがあったが、現在は飲食や休憩で利用されている印象がある。今後も注意して見ていく。</p> <p>② 事業計画について</p>

(光) インターネット端末の予約待ち順番間違えに関する苦情について

→ (関) 単純なミスで、予約待ちをしていた方の順番を間違えてしまった。受付管理簿の書式にミスを誘発するような不備があったため、すぐに新しい書式を作成し、翌日から変更した。

(光) 携帯電話で通話している人がいるとの苦情について

→ (関) ご意見箱への投稿だったため詳細は不明。館内において携帯電話で通話していたり、子供が大きな声を出していたりすれば注意している。

(光) 「関町図書館 本の修理教室」について

→ (関) 本の修理方法を教えながら、図書館の修理本と一緒に修理した。当日は大雨で参加者が少なかったが意欲的な方に参加していただき、手ごたえを感じた。本を借りるだけでなく、このような、本の扱い方や、保存・製本等、本そのものの知識を得られるような事業もいいのではないかと考えている。

(光) 地域資料の特集展示について、反響はどうか。

→ (関) 地域資料の特性も考えられるが、なかなか貸出につながらない。置いてあるパンフレットは減っており、展示場所を地域資料の中央に移動する等工夫しているので今後も様子を見ていく。

(光) 利用統計を改修前後で比較すると、貸出数は児童で微増、青少年で大幅な増、一般で減となっている。来館者数は増えている。

→ (関) 細かな分析は出来ていないが、居心地が良くなり、利用者一人の滞在時間は長くなっていると感じている。館内は毎日混んでいる。貸出数については、開館当初に来館された方から「資料があまり変わっていない」といった声があったので、そうした理由でこういう結果になっているのではと心配している。今後、どの資料が増減しているか分析して対策を考えるとともに、資料の紹介、見せていく展示について力を入れていきたい。

③ 児童サービス事業について

(光) 「つぶやきノート」の設置について

→ (関) 旧図書館でも行っていた「つぶやきノート」を再開した。自由なコメントを書き残せるノートをティーンズコーナーの空いている棚に設置し、早速、中高生が利用している。個人情報等の記載がないか等、毎日、記入内容は確認している。

(光) 6月以降の学校支援の取り組みについて

→ (関) 学校に団体貸出しを展開する中で、ブックトークの依頼も受けている。ブックトークは先生の要望を聞きながら中身を決めていき、学校によっては全学級に行った。先生方も読書活動に熱心に取り組んでおり、読書旬間の相談にも加わっている。学校図書館の展示も、学習につながるものを広く取り入れた形で行いたいとの話が学校よりあったため、それに対応するような資料を集めて展示をしている。夏休みについては、これまでは開館している学校はなかったようだが、支援業務の中で対応できるため、夏休み中の開館も含めて先生と相談しながら進めていきたい。